



ジオパークのデザインが変わります！

洞爺湖有珠山ジオパークでは、デザインで大地の特徴を表せるよう、下枠左のマーク（ブランドイメージ）を使用してきました。

ここ数年、様々なグッズや印刷物が発行されるようになり、これまでのマークは「文字が読みづらい」「細かい部分が再現しにくい」という問題が増えてきました。

そこで、2023年から、はっきりと見やすいデザインへ変更し、ジオパーク名称はマークの下に示すようにしました。

これから印刷物や看板改修の機会に、順次張替えを進めていきます。

これまで		これから
	<ul style="list-style-type: none">△ 文字が小さく見づらい△ 印刷するとぼやける△ HP やスマホだと見づらい	

11/25 「有珠山の最新研究にふれてみよう！」開催

令和5年11月25日、伊達市防災センターでジオパーク講座「有珠山の最新研究にふれてみよう！」を開催しました。

北海道大学地震火山研究観測センター助教の田中良先生からは、噴火に備えた研究のひとつとして、GNSS(衛星を使った測位システム)による観測の仕組みが紹介されました。2000年噴火当時はわずか3カ所だった観測地点が、現在では20カ所以上に増え、より詳細なデータが得られるようになったそうです。

北海道大学大学院理学研究院特任教授の中川光弘先生からは、有珠山の形成史がどのように解明されてきたか、研究方法とその結果が説明されました。



有珠山についての研究は大きくすすんだものの、次の噴火が「いつ・どこで・どのように」起こるかは、まだわかりません。

新しい視点や技術を用いた研究によって、火山の歴史や噴火の仕組みが明らかになれば、より安全な生活や観光の実現に近づきます。これからも研究の進展が楽しみです！